

## 第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 19日 (土)		会 場 : 大垣市総合体育館				
開始時間 : 13:30 ~	第1日目	男子	一回戦			
Aチーム 岐阜県  <b>岐阜総合学園</b>	92 <table style="margin: 0 auto; border: none;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">[</td> <td style="text-align: center; padding: 0 10px;">                     21 - 23                      26 - 25                      24 - 36                      21 - 27                 </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">]</td> </tr> </table>	[	21 - 23 26 - 25 24 - 36 21 - 27	]	111	Bチーム 三重県  <b>四日市西</b>
[	21 - 23 26 - 25 24 - 36 21 - 27	]				

両チームともマンツーマンディフェンスで始まる。互いに緊張のためかミスが多く、ロースコアの展開となる。四日市西は 坪井、 奥の3点シュートなどで先手を取れば、岐阜総合も 原(敬)がインサイドで踏ん張り何とか追いつがる。第1ピリオドは四日市西が23-21とリードする。

第2ピリオドに入ると四日市西は激しいディフェンスで相手のミスを誘い、 坪井のインサイドや 荒井の個人技で得点をあげ引き離そうとするが、岐阜総合も速い展開に持ち込み、 新川、 赤座のシュートで追い上げる。前半は48-47と四日市西が1点をリードして折り返す。

第3ピリオドに入ると四日市西の激しいディフェンスに岐阜総合の集中力がとぎれ、ミスを連発する。この機に四日市西は 中島、 坪井、 奥が次々にシュートを決め、一気に13点のリードを奪い、流れに乗る。

第4ピリオドに入ると、岐阜総合は 梅田の3点シュートなどで一時は6点差まで追い上げるが、四日市西は 奥の3点シュートなどで持ちこたえ、激しいディフェンスでリズムをつかむと再びリードを広げ、最後は111-92と大差をつけて四日市西が勝利した。岐阜総合も 梅田が一人気を吐くものの、最後は走り負け、追いつけられなかった。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	山田 祐治

## 第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 19日 (土)		会 場 : 大垣市総合体育館	
開始時間 : 13:30 ~	第1日目	男子	一回戦
Aチーム 静岡県  <b>浜松商業</b>	56	$\begin{bmatrix} 14 & - & 19 \\ 7 & - & 28 \\ 23 & - & 22 \\ 12 & - & 18 \end{bmatrix}$	87
		Bチーム 愛知県  <b>安城学園</b>	

安城学園は2-2-1オールコートゾーンプレス、浜松商業はマンツーマンでスタートする。浜松商業は途中ディフェンスをゾーンに変えるなどして相手にリズムをつかませない。安城学園も次々に選手交代して様子をうかがいながらの出足で、第1ピリオドは19-14のロースコアの展開で安城学園がリードする。

第2ピリオドに入ると、安城学園のオールコートディフェンスが機能し始め、ボールを奪うと 宇佐美、 中野、 伊与田らが次々にシュートを決め、一気にリードを奪う。浜松商業は思うようにボールが運べず、わずか7得点に抑えられ、前半は47-21と安城学園がリードして折り返す。

第3ピリオドに入ると、安城学園は 伊藤の連続3点シュートなどで勢いに乗るかと思われたが、浜松商業は 佐々木、 坂下の3点シュートや 水口のインサイドで踏ん張りをみせ、第3ピリオドは互角の競い合いとなった。

第4ピリオドに入っても、安城学園はオールコートディフェンスから自分たちのペースで試合を進め、 中野のインサイド、 藤原の3点シュートなどで得点を伸ばし、前半のリードを守り切って浜松商業を下した。浜松商業も最後まであきらめずファイト溢れるプレーを展開したが、前半の失点を挽回することはできなかった。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	宮崎 泰彦

## 第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 19日 (土)		会 場 : 大垣市総合体育館													
開始時間 : 15:10 ~	第1日目	男子	一回戦												
Aチーム 三重県  <div style="text-align: center; font-size: 1.5em; font-weight: bold;">四日市工業</div>	72 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; border: 1px solid black;"> <tr><td style="font-size: 2em;">[</td><td style="padding: 0 5px;">28 - 18</td><td style="font-size: 2em;">]</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em;">[</td><td style="padding: 0 5px;">11 - 27</td><td style="font-size: 2em;">]</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em;">[</td><td style="padding: 0 5px;">13 - 21</td><td style="font-size: 2em;">]</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em;">[</td><td style="padding: 0 5px;">20 - 24</td><td style="font-size: 2em;">]</td></tr> </table>	[	28 - 18	]	[	11 - 27	]	[	13 - 21	]	[	20 - 24	]	90	Bチーム 愛知県  <div style="text-align: center; font-size: 1.5em; font-weight: bold;">愛知産業大学工業</div>
[	28 - 18	]													
[	11 - 27	]													
[	13 - 21	]													
[	20 - 24	]													

愛知産業大学工業は2-1-2ハーフコートゾーン、四日市工業はハーフコートマンツーマンでスタート。愛知産業大学工業は 嶋田、飯沼のゴール下シュートや横本の3点シュート、ドライブインで先手を取るが、四日市工業は 安藤、森島の3点シュートなどで逆転し、第1ピリオドは四日市工業が28-18と10点のリードを奪う。

第2ピリオドに入ると、愛知産業大学工業はマッチアップを厳しくしゴール下を制すると、リバウンドから速攻へつなげ再逆転に成功する。四日市工業も 森島、杉山がドライブをしかけ、合わせのプレーで得点を狙うも思うようにシュートが決まらない。前半は45-39と愛知産業大学工業がリードして折り返す。

第3ピリオドに入ると両チームともターンオーバーが目立ち、思うように点が取れない。その中で愛知産業大学工業 横本が3本の3点シュートを含む13点をあげる活躍をし、嶋田もゴール下で確実に得点をあげリードを守る。

第4ピリオドに入ると、四日市工業は2年生主体のメンバーでオールコートゾーンプレスをしかけ、巻き返しを図る。しかし、愛知産業大学工業は素早いパス回しからドライブ、ゴール下を果敢に攻め、相手のファウルが重むところから得たフリースローを確実に決め、90-72で逃げ切り、1回戦を勝ち上がった。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	土本 繁

## 第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 19日 (土)		会 場 : 大垣市総合体育館	
開始時間 : 15:10 ~	第1日目	男子	一回戦
Aチーム 岐阜県  <b>長良</b>	61	$\left[ \begin{array}{r} 12 - 19 \\ 11 - 22 \\ 17 - 21 \\ 21 - 30 \end{array} \right]$	92  Bチーム 静岡県  <b>飛龍</b>

飛龍はオールコート2-2-1からハーフ1-1-3ゾーン、長良はハーフコート2-1-2ゾーンでスタートする。緒戦のためリズムが悪く、両チームともイーゾーミスが多く、ロースコアのゲームとなるが、途中から飛龍は 山田、 羽柴の3点シュートなどで19-12と7点のリードを奪う。

第2ピリオドに入ると、飛龍は徐々にリバウンドを支配し始め、 杉山(大)、 李のシュートで着実にリードを広げる。長良は 浅野が一人9得点と頑張るが、相変わらず勢いに乗れない。前半は41-23と飛龍が18点リードで折り返す。

第3ピリオドに入ると、飛龍は 羽柴の3本の3点シュートを含む11得点の活躍や、スティールからの速攻と着実に得点を伸ばす。長良は 秋田のポストを軸に、浅野、 栗田のシュートで追い上げるも、点差を縮めるまでは至らない。

第4ピリオド、飛龍は確実なリバウンドから速攻につなげて 種市、 飯田らが次々にシュートを決め、92-61と大差をつけて1回戦を勝ち上がった。長良も 浅野が25点をあげる活躍で食い下がったが、センター 秋田がわずかに1得点に終わり、また、フリースローのミスも響き追い上げ切れなかった。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	小野 卓也